

科目名		簿記概論 I (Book Keeping I)							
学年	学科(コース)	単位数		必修/選択	授業形態	開講時期	総時間数		
第1学年	経営情報学科	履修	1単位	—	講義	後期 90分/週	30時間		
担当教員		【常勤】 苗 馨允							
学習到達目標									
科目の到達目標レベル	(1)複式簿記の基本的なしくみが理解できる。 (2)勘定と取引の8要素について説明できる。 (3)各種取引の概要を理解し、実際に仕訳および記帳することができる。								
学習・教育目標	(C)①	JABEE基準1(2)		—					
関連科目, 教科書および補助教材									
関連科目	基礎経営学								
教科書	新簿記 新訂版(新井益太郎・稲垣富士男, 実教出版)								
補助教材等	プリント								
達成度評価 (%)									
評価方法 指標と評価割合	中間試験	期末・ 学年末 試験	小テスト・ レポート	レポート	口頭 発表	成果品	ポート フォリオ	その他 (発言)	合計
	総合評価割合	30	30		20			20	100
知識の基本的な理解 【知識・記憶、理解レベル】	◎	◎		◎				◎	
思考・推論・創造への 適用力 【適用、分析レベル】	○	○		○				○	
汎用的技能 【 】									
態度・志向性(人間力) 【 】									
総合的な学習経験と 創造的思考力 【 】									
学習上の留意点および学習上の助言									
簿記は、企業における諸活動の一定期間の経営成績や一定時点の財政状態についての情報をさまざまなステークホルダーに対して提供するものであり、社会全体にとっても重要な役割を果たしている。また、簿記が提供する情報は経営活動の過去の実績把握にとどまらず、経営分析や将来予測などの意思決定にも貢献している。本授業では、日商簿記検定3級合格を目標にしながら、商業簿記の基礎を学習する。									

授 業 の 明 細

回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)
1	ガイダンス	・シラバスを通じて、学習の意義や授業の進め方、評価方法などを理解できる。	
2	現金と預金①	・簿記上の現金および現金過不足の処理を理解できる。 ・当座預金と当座借越を理解できる。	適宜指示する。
3	現金と預金②	・小口現金および定額資金前渡制度（インプレストシステム）を理解できる。	適宜指示する。
4	商品売買①	・商品売買取引に関する分記法と三分法を理解できる。	適宜指示する。
5	商品売買②	・売上原価および売上総利益の算定方法を理解できる。	適宜指示する。
6	売掛金と買掛金	売掛金と買掛金の処理ならびに、統制勘定と人名勘定を理解できる。	適宜指示する。
7	貸倒引出金	・貸倒引出金の役割と設定方法を理解できる。	適宜指示する。
8	中 間 試 験		
9	答案返却・解答解説 手形取引①	・試験問題の解説を通じて、間違った箇所を理解できる。 ・約束手形と為替手形の特徴や処理方法を理解できる。	適宜指示する。
10	手形取引②	・所有手形の処分方法について、手形の裏書と割引を理解できる。	適宜指示する。
11	各種債権・債務	・貸付金や借入金、未収金や未払金といったさまざまな債権・債務の仕訳方法を理解できる。	適宜指示する。
12	売買目的有価証券	・株式や公社債などの有価証券の処理を理解できる。	適宜指示する。
13	固定資産①	・固定資産の処理について、消耗品との相違も含めて理解できる。	適宜指示する。
14	固定資産②	・固定資産の購入および売却時の記帳方法について、また、減価償却の役割と方法について理解できる。	適宜指示する。
	期 末 試 験		
15	答案返却・解答解説 全体の学習事項のまとめ 授業改善アンケートの実施	・試験問題の解説を通じて、間違った箇所を理解できる。 ・全体の学習事項のまとめが理解できる。	
総 授 業 時 間 数			30 時間